

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 古河市立八俣小学校 担当教諭名 飯泉千恵子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成23年1月20日(木) 9:30 ~ 14:40
実施場所	八俣小学校 5教室 体育館
参加者と人数	6年生 97名(3クラス) 4年生 83名(2クラス)
派遣講師名と出身国	ジェフリー バーク(アメリカ), オレリー ノエル(フランス), 伝 紅萍(中国), 李 美蘭(韓国)、木村直子(コーディネーター)
活動の内容	第1部 6学年「地球発見! 世界の人とふれあおう」 ○グループワーク各コーナー30分間ずつ。5か国のうち2か国を選択。 (アメリカ・フランス・韓国・中国・ペルー(ALT)) ①講師の紹介 ②講師の先生から、国の文化、遊び、言葉、食べ物等についての講話。 ③質問タイム ④体験タイムなど ○全体会 体育館で5か国の講師の方のお話、○×クイズ、体験タイム 第2部 4学年「世界はともだち」全体学習会 ○全体会 体育館で5か国の講師の方のお話、○×クイズ、質問タイム、体験タイム
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 ・今回を含め4年連続でワールドキャラバン事業を実施している。毎回ファシリテーターの方が熱心に講師と学校との連絡・調整をしてくださり、とても感謝している。 ・申請書を送付してから事業実施可能の連絡、また講師決定に時間がかかりすぎるように感じる。遅くとも実施1か月前(長期休業日を含まず)までに、おおよその内容が決定できるようにしていただけると児童の事前調べの時間が確保できて助かる。
児童の感想	(4年生) ・話を聞いたり、体操をしたり、ゲームをしたり、楽器をふいたりといろいろな体験ができました。すごくおもしろくて時間が過ぎるのが早く感じられました。思い出になってよかったです。 ・体験コーナーでゲームをしました。その中でフランスと韓国のゲームが日本のゲームと似ていると思いました。 ・中国や韓国は国が近くても文化が違うことが分かりました。 ・中国の体操を教えてもらいました。ポーズや動きがおもしろくて、今度家でもう一度やってみたいです。世界にはいろいろな遊びがあるんだなと思いました。 (6年生) ・アメリカのことはだいたい知っていると思っていましたが、知らないことがたくさんありました。講師の先生方の話を聞いて、改めて世界は広くて、おもしろく、すてきななと思いました。 ・講師の先生が自分の国の言葉であいさつや自己紹介をしてくれました。初めて聞く言葉やあいさつが多く、びっくりしました。 ・知っていると思っていたことが違っていたり、日本のことでも違って伝わっていたりしてびっくりしました。知らないことをたくさん教えてもらったので、今度は違う国のこともたくさん教えてもらいたいと思いました。 ・全体会では、ほとんどの国にお寿司屋さんがあることにとても驚きました。日本の文化が世界にも受け入れられていることに感心しました。 ・4年生の時に行ったワールドキャラバンのときと違う国を学習できました。全体会では○×クイズで楽しみながらちょっとした知識を学ぶことができました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が行ったことのない「未知の世界」をたくさん知ることができました。「世界」という規模の広い視点から見ると似ているところや似ていないところがあるんだなと思いました。講師の先生と楽しく交流できるようにたくさん質問することができました。
先生の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習で国際理解教育としてワールドキャラバンを実施した。異文化に触れる機会の少ない児童にとって、世界4カ国からの講師のお話を直接聞いたことは、とても貴重な経験になった。いろんな国があり、いろんな人がいることを肌で感じる事ができた。 ・講師のみなさんが児童に自国の文化等を理解してもらおうと実物を提示したり、事前の準備を十分になさって工夫して説明して下さりありがたかった。児童もとても喜んで、話にひきつけられていた。 ・児童にとっては「知らないこと」を「知る」ことは大きな喜びであることが分かった。児童がいきいきと質問し、聞いている姿が印象に残った。 ・それぞれの国の共通点や相違点を知り、児童はさらに興味を深めることができたようだ。 ・ファシリテーターの方と事前の打ち合わせを十分に行った。ファシリテーターの方が学校側の思いを講師の方々に正確に伝え、また講師への指導まで行って、今回のワールドキャラバンに臨んでくださった。熱心なファシリテーターの方、講師の方に恵まれ、分散会・全体会で楽しく交流できた。

